



編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313

高橋 ちづ子
高紙 いわぶち
国会議員連絡所
鶴岡市美原町16-5
☎22-3313
FAX24-4096

無料生活相談所
関 徹
長者町11-26
24-2414
加藤 一
宝徳 仲田56
64-3941
菅井 巖
中 楯 9 6
33-0534

坂本 昌栄
稲生2-33-47
24-5993
山田 守
宝田1-9-1-31
23-6548
長谷川 剛
日枝坂本43-10
24-1677

大荒地区も「不調」、計画撤回を

大荒ごみ処分場 建設計画 「市民の会」「保全する会」「市に要望

その上で、「行政の長として責任を明確に果たしていただき、4月中に市長同席のもとで文書での回答をお願いしたい」と述べました。

白幡部長は「市長に要請内容を伝え、前回の懇談と併せて回答できるようにしたい」との答弁がありました。

同席した参加者からは、「8か所の候補地選定の現地確認報告に当たる「復命書」の公文書開示請求を行ったが「文書不存在」とあった事に対し、「現地確認の文書報告もなく大荒がなぜ最適地になったのか」「行政の初歩的ミスでないのか」との問いかけや、候補地の近くに住民からは「自然豊かな場所を残してもらいたい一心でいる」「候補地は県指定の水源地であり、あまりにも進め方が強引でないのか」等の訴えがありました。



大荒地区へのごみ処分場建設計画の撤回を要望する「大荒地内ごみ最終処分場を考える市民の会」と「上郷・大荒里山の自然と住民環境を保全する会」の代表ら(11日)

「大荒・ごみ最終処分場を考える市民の会」と「上郷・大荒里山の自然と住民環境を保全する会」は11日、共同で「大荒地内ごみ最終処分場計画の撤回、候補地選定、合意形成プロセス等での市の検証と責任を求める要請書」を市に提出しました。

菅井巖市議が同席し、市当局から白幡市民部長と五十嵐廃棄物対策課長が出席し対応しました。

市民の会の共同代表・佐藤安太郎氏が白幡

市民部長に要請書を手渡し、読み上げ、2月に行われた皆川市長との懇談での候補地選定に関する不明確な「回答」についての見解を求めるとともに、候補地選定の経過、地元合意の実態や、流域住民の運動などを訴えた上で、「8か所あった候補地のうち、4カ所が地元住民の反対意見があり不調であるが、不調の度合いは今回の上郷・大荒地区も全く同列かそれ以上」として、「不調」と判断し計画の撤回を求めました。

野党と市民の共闘で安倍政権退場に

鶴岡田川地区日本共産党後援会総会

鶴岡田川地区日本共産党後援会総会が15日開かれ、市議選・市長選をはじめとした17年度の活動の総括と、今年6月の庄内町議選、来年の県議選・参院選勝利に向けての18年度活動方針を決めました。

参院選山形選挙区予定候補の浜田藤兵衛氏が挨拶。

「野党と市民の共闘で安倍政権を退場に追い込むことはもちろん、次の世代に残したいものと残さないものを訴えていきたい」と話しました。

次の世代に残すものとして、「憲法9条を生かした日本を」と訴え、南スーダンから帰還した自衛隊員が56人も亡くなったことな

また、次の世代に残さないものとして、「貧困と格差を無くしたい」と訴え、「山形県は全国でも最低水準の時給739円であり、県労連の調査では、月23万円、時給換算で1300円は必要だ。最低賃金の大幅引き上げが必要だ」と述べました。

総会には、関とおる県議と5人の市議、工藤範子庄内町議が決意をのべました。



浜田藤兵衛・参院山形選挙区予定候補が挨拶(15日、勤労者会館)

菅井市議は候補地選定について、「復命書」の対応や現地確認について、詳しい報告が残されていないか改めて調べることを要望するとともに、昭和54年に西部養豚団地ができる際に、当時の市長が立会人で手交した「覚書」について、「行政責任として引き継ぐべき」と指摘しました。

かたくり温泉ぼんぼ

入館者6万人達成



フロント脇に掲げられた「ありがとう 6万人達成」の垂れ幕

入館者の減少を理由に、平成28年度末に一且廃止が決まっていた旧朝日村・熊出の「かたくり温泉ぼんぼ」ですが、地域住民の「地

困難乗り越え心優しい看護師目指す

市立荘内看護専門学校入学式

鶴岡市立荘内看護専門学校が12日開催され、それぞれの決意を胸に看護の道へ一歩を踏み出しました。

新入生は鶴岡市をは

三科校長が「皆さんの最終目標は3年後に看護師国家資格を得る



「心優しい看護師を目指す」と誓いの言葉を述べる新入生

ことである。勉強は自身の知らないことを学び、出来ないことを可能にすることもある。高齢化が進む看護師の働き方や考え方が問われてくるがそれに応えるためにも楽しく、より良い看護師を目指して有意義に過ごしてほしい。」と式辞を述べ、皆川市長が挨拶。3年生山口志穂さんが歓迎の言葉を述べました。新入生代表の五十嵐なずなさんは「仲間と支え合って困難を乗り越え、強い責任感と使命感を持ち、心優しい看護師を目指し有意義な学校生活を送ります。」と、誓いの言葉を述べました。加藤鉦一市議と坂本昌栄市議が出席しました。

てきました。

を求める声が高まり、その熱意が市に届き、存続が決定、平成29年度からは水光熱費の実費相当分は市が補助、運営は地域住民で構成する「かたくり温泉ぼんぼ」管理運営組合が運営してきました。市に将来に渡って存在価値を認めさせる為にも、又地域の福祉と活性化の貢献する為に「1年間入館者6万人を目指そう」と輪投げ道場やヨーガ教室、クラウンドゴルフ大会、ストレッチ教室、健康講話等健康イベントの開催、伝統食試食会、演芸ショー等楽しい交流のイベントを多数企画、また休館日は月1日、営業時間の延長、売店の充実、東北コープとの事業連携、様々な入浴料割引制度の導入等、管理運営組合理事會・従業員一同心を一つに知恵と工夫を凝らし利用者増に努力し

「ぼんぼで人と交流するのが何よりの楽しみだ」と笑顔になられる高齢者、「このお湯で子どものアトピーが治った」と通ってこられるご家族、また雇用や商売の面でも地元経済発展にも貢献している「ぼんぼ」です。こんご共応援よろしくお願いいたします。(かたくり温泉ぼんぼ管理運営組合事務局次長 高橋裕子)

働くものの団結で生活と権利を守り、
平和と民主主義、中立の日本をめざそう！

第89回メーデー鶴岡田川地区集会

日時 5月1日(火)午前9時30分開会

場所 鶴岡公園 疎林広場

小雨決行・荒天時は朝陽武道館大武道場にて

内容 集会・デモ行進・交流会

公園内への自動車乗り入れはご遠慮ください。

お問い合わせ 電話25-1816(鶴岡田川地域労連)